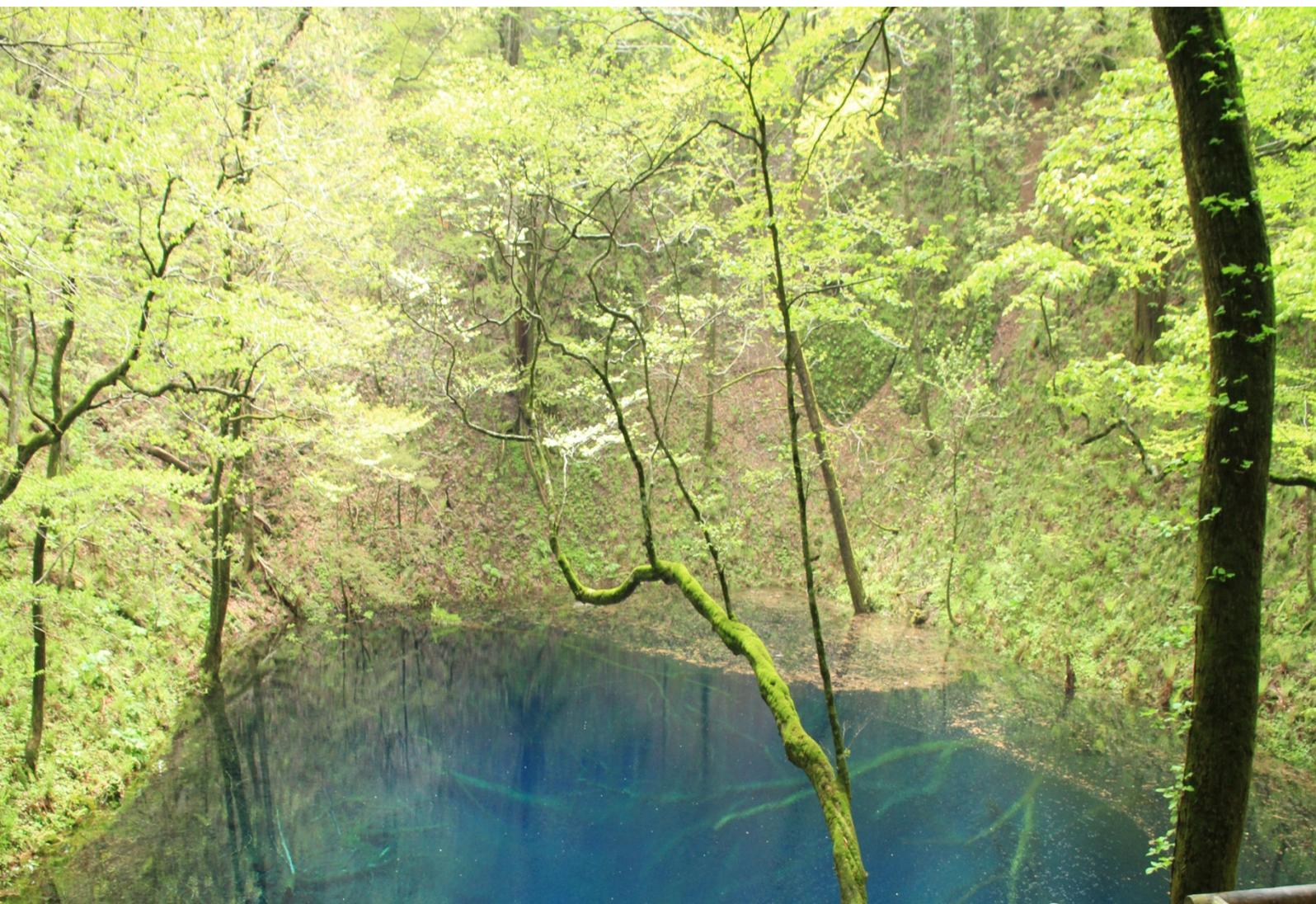


平成 30 年度

白神自然環境人材育成講座

募集要項



弘前大学生涯学習教育研究センター

平成30年度「白神自然環境人材育成講座」募集要項

1. 事業の趣旨・必要性

本講座は、白神山地をはじめとする青森県の自然環境に深い見識をもち、環境の保全に配慮しながら、自然資源の管理と活用をすることのできる人材の育成を目的とします。

青森県は、世界自然遺産白神山地をはじめ、豊かな自然環境に恵まれています。この豊かな自然環境を、広く世界に、そして次世代に伝えていくためには、自然環境の保全や環境教育活動のできる人材、世界遺産のブランド価値を活用して地域資源を商品化したり、観光客をもてなしたりする観光関連人材、さらに自然環境と共に生きる青森県の未来を創造できる人材が、強く求められています。

白神山地に関連する民間団体の実践知と、弘前大学が有する学術知を融合することで、白神山地をはじめとする青森県の自然環境を保全し、賢く活用し、持続的な地域の発展に寄与することができる人材を育成します。

2. 教育目標／育成する人材像

- (1) 白神山地をはじめとする青森県の自然環境の重要性と、それを保全してきた歴史的・文化的背景を理解し、環境教育活動を通して次世代に発信したり、保全活動に取り組んだりできる人材
- (2) 自然環境の保全に配慮しながら、世界遺産のブランド価値を活用して、地域の資源を活かした観光商品を開発したり、新しい（着地型・長期滞在型・インバウンド型）観光を開発したりできる人材
- (3) 正確な知識に依拠しつつ、地域の魅力を薫り豊かに発信することのできる観光ガイド人材
- (4) 人口減少が進行する青森県において、自然環境と共に生きる未来のあり方を考え、持続的な地域の発展を構想することのできる人材

3. カリキュラムの特徴

弘前大学が教養課程において開講する講義科目[96h]と、白神を深く学ぶ特設科目[47h]を組み合わせた10科目[143h]の専門人材育成講座で、白神山地と周辺地域について体系的に学びます（オプションとして3時間の救命講習）。特設科目の約半分が実査とワークショップから成り、実践的に学べるのが特徴です。教養課程講義科目は、本学学生と一緒に講義を受講することができます。

(1) 教養課程講義科目[96h]

1. 「生物学の世界－生物多様性とその保全－[24h]」
(シラバス番号【1】)
2. 「青森の自然－白神学Ⅰ－[24h]」
(シラバス番号【4】)
3. 「地球環境－21世紀の地球環境問題②－[24h]」
(シラバス番号【7】)

4. 「白神学 II[24h]」
(シラバス番号【9】)

(2) 特設基礎科目 [7h]

1. 「白神保全論[講義 4h]」
(シラバス番号【2】)
2. 「世界自然遺産論[講義 3h]」
(シラバス番号【6】)

(3) 特設応用科目 [40h]

1. 「白神観光戦略論[講義+ワークショップ 6h・実査 4h]」
(シラバス番号【3】)
2. 「自然ガイド実践論[講義 2h・ワークショップ 8h]」
(シラバス番号【5】)
3. 「白神ブランド戦略論[講義 4.5h・実査 5.5h]」
(シラバス番号【8】)
4. 「次世代継承論[講義 6h・ワークショップ 4h]」
(シラバス番号【10】)

(4) 救命講習[3h] (課程外オプション)

4. 実施体制について

本講座は、弘前大学における履修証明プログラムに関する規程に基づき、以下のように実施します。

(1) 履修生の決定

提出された申請書類等を審査し、その結果を志願者へ通知します。

(2) 修了要件

総時間数 143 時間のうち 120 時間以上の講義等を履修し、かつ授業終了時に課すレポートを提出することが、修了要件となります。毎回、所定の場所で出席確認を行います。

(3) 履修証明書の交付

修了者には弘前大学長から履修証明書が発行されます(単位認定するものではありません)。

(4) その他

①メンターについて

履修を進める上での相談相手(メンター)を設けます。履修生の学習をサポートします。

②附属図書館の利用について

附属図書館を利用することができます。一度に5冊まで図書や雑誌を借りることができます。

5. 募集人員
10名程度

6. 履修期間
本講座の履修期間は2年間です。

7. 履修資格
高等学校を卒業した者または同等以上の学力を有すると認められる者

8. 履修開始までの流れ

(1) 説明会

平成30年8月10日(金) 18時30分～

弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大8階 八甲田ホール

(2) 申請締切

8月31日(金) 必着

(3) 申請結果の通知

平成30年9月12日(水)頃までに、志願者へ通知を送付します。
あわせて履修予定者へ開講式や受講料についての案内を送付します。

(4) 開講式

平成30年9月28日(金) 16時00分～

弘前大学附属図書館3階 グループラーニングルーム3・4・5

9. 修了後について

本講座修了後は、地域に新たな価値をもたらす人材として活躍することが期待されています。弘前大学が主催する白神関係の事業をサポートすることも期待されています。

10. 申請書類について

(1) 申請書類

申請書類は【別紙1】のとおりです。生涯学習教育研究センターホームページからダウンロードできます。

(<http://culture.cc.hirosaki-u.ac.jp/sgcenter/>)

①提出書類チェックシート

②様式1 履修申請書

③様式2 履歴書

④様式3 履修希望理由書

⑤履修資格の証明書類

(例)

高等学校卒業証書の写し(サイズは変更して構いません)

高等学校卒業証明書の原本(卒業校へ連絡し、お取り寄せください)

その他証明になる書類

(2) 提出方法

①申請書類の郵送は「簡易書留」とし、封筒の表に「白神自然環境人材育成講座 履修申請書在中」と朱書きしてください。

【提出先】

〒036-8560

青森県弘前市文京町1番地

弘前大学生涯学習教育研究センター

- ②不備のある申請書類は受け付けられません。
- ③虚偽の記載があった場合は、履修資格を取り消す場合があります。
- ④一旦受理した書類は返却できません。

1.1. 受講料

受講料は半期で17,500円です。履修期間(2年間)で、受講料の総額は70,000円となります。

本学指定の口座へ、半期分毎に期日まで納付してください。納付確認ができない場合には、履修資格を取り消す場合があります。一旦納入された受講料は、原則として返還できません。

受講料のほか、実習等に係る経費等を履修生にご負担頂く場合があります。

・納入締切

履修期間	納入締切
平成30年9月～平成31年3月末分	平成30年9月28日(金)

《参考》平成31年4月以降分

履修期間	納入締切
平成31年4月～平成31年9月末分	平成31年4月5日(金)
平成31年10月～平成32年3月末分	平成31年9月30日(金)
平成32年4月～平成32年9月末分	平成32年4月上旬(仮)

1.2. 個人情報の取扱いについて

申込みに際し取得した個人情報は、本学事業の目的以外に使用しません。

提出書類チェックシート

提出書類を確認の上、本状も提出願います。

講座名	白神自然環境人材育成講座
勤務先および役職	
氏名	

提出書類	
<input type="checkbox"/> 提出書類チェックシート(本用紙)	本用紙
<input type="checkbox"/> 履修申請書	様式1
<input type="checkbox"/> 履歴書	様式2
<input type="checkbox"/> 履修希望理由書	様式3
<input type="checkbox"/> 履修資格の証明書類 (高等学校卒業証書の写し, 卒業証明書の原本等)	

- * 提出書類を確認の上、本状も提出願います。
- * すべて日本工業規格A4版としてください。
- * 提出の際は、「簡易書留」にて郵送願います。

↓ 郵送時の宛名ラベルとしてご利用ください ↓

----- 切り取り線 -----

〒036-8560 弘前市文京町1

弘前大学生涯学習教育研究センター 宛

切り取り線

受付番号 ※事務局記載	
----------------	--

平成30年度 白神自然環境人材育成講座履修申請書

講座名		白神自然環境人材育成講座		写 真	(4.0cm×3.0cm)
ふりがな				男	生年月日・年齢
氏名				女	年 月 日(歳)
自宅	住所	〒			
	TEL	()	携帯電話		
	FAX*	()	E-mail		
勤務先	住所*	〒			
		勤務先名*		役職	
	TEL*		FAX*		
通知文書等の送付先			自宅 ・ 勤務先		
緊急連絡先氏名・電話番号					
履修上での本学への要望等					

1. 上欄の*が付いている項目は、該当のない場合は記入する必要はありません。
2. 講義についてのお知らせやイベントのご案内、欠席された回の講義資料の送付などを事務局よりメール配信いたします。
一般的な携帯電話のメールアドレスでは添付ファイルの受信ができません。
添付ファイルの受信ができるメールアドレス(パソコン・スマートフォン・タブレット対応メールアドレス)をご記入ください。
3. 申込みに際し、ご記入頂いた個人情報は、本学事業の目的以外には使用いたしません。

履 歴 書

氏名 _____

最終学歴	年 月	
職歴	年 月	
免許・資格	年 月	

平成30年度後期カリキュラム

授業科目名		授業の内容	時間	教員名
【1】 生物学の世界 ー生物多様性とその 保全ー	講義	ガイダンス 生物多様性の考え方	1.5	石川 中村
	講義	動物の多様な世界 ・種多様性の把握と動物分類学 ・種間関係, 種内の多様性	1.5	中村
	講義		1.5	中村
	講義		1.5	中村
	講義		1.5	中村
	講義		1.5	石川
	講義	植物生態の多様なありよう ・環境の中での植物個体群, 群落と景観	1.5	石川
	講義		1.5	石川
	講義		1.5	石川
	講義		1.5	石川
	講義		1.5	石川
	講義		1.5	石川
	講義		1.5	石川
	講義	生物の絶滅とレッドデータブック	1.5	中村
	講義	・生物多様性保全の施策	1.5	中村
	講義	・生物標本資料の収集と博物館の役割	1.5	中村
	レポート作成	1.5		
【2】 白神保全論	講義	白神山地の保全 何をどう守るのか	1.5	石川
	講義	白神山地の現状と具体的な保全策	2.5	中村
【3】 白神観光戦略論	講義 +WS	青森県の観光戦略と白神山地の可能性	2	秋田※ 調整中
	講義 +WS	白神山地周辺地域の挑戦を知る	2	竹内
	講義 +WS	再来訪をうながす仕掛け作り	2	坂本
	実査	グリーン・ツーリズムの取り組み	4	竹ヶ原

※担当教員及び講義内容は変更となる場合があります。

《参考 平成31年度以降のカリキュラム》

■平成31年度前期カリキュラム ※平成31年3月頃確定予定

授業科目名		授業の内容	時間	教員名
【4】 青森の自然 ー白神学Iー	講義	ガイダンス 世界自然遺産としての白神生態系と植物群落	1.5	石川
	講義	白神山地の気象	1.5	石田
	講義	リモートセンシングとGISデータから見える白神山地	1.5	丹波
	講義	白神山地の大地の生い立ち	1.5	根本
	講義	白神山地の自然環境の歴史の変遷	1.5	上條
	講義	森に支えられる河川生態系	1.5	大高
	講義	白神山地の菌類	1.5	殿内
	講義	土地と森林の結びつきを見るー白神山地の地すべりー	1.5	檜垣
	講義	白神山地の土壌	1.5	佐々木
	講義	白神山地にくらすプラナリア	1.5	小林
	講義	春に咲く花達	1.5	山岸
	講義	白神山地の植物 シラネアオイの生活史特性	1.5	本多
	講義	白神山地は「緑のダム」になり得るか	1.5	丸居
	講義	白神山地におけるブナ林の遺伝子多様性について	1.5	赤田
	【5】 自然ガイド実践論	講義	白神にくらす昆虫たち	1.5
		レポート作成	1.5	
WS		自然解説のための資源整理	2	中村
講義 +WS		自然解説の基本技術	3	佐藤
WS		外国からのお客様をもてなす	2	呉
【6】 世界自然遺産論	講義 +WS	津軽の薫り豊かな案内	3	今村
	講義	世界自然遺産の目的と日本の自然遺産	1.5	石川
	講義	海外の世界自然遺産とその問題点	1.5	石川

※担当教員及び講義内容は変更となる場合があります。

■平成31年度後期カリキュラム ※平成31年9月頃確定予定

授業科目名		授業の内容	時間	教員名
【7】 地球環境 －21世紀の地球環境 問題②－	講義	ガイダンス	1.5	
	講義	発展途上国と環境問題	1.5	檜垣
	講義		1.5	檜垣
	講義	気候変動と環境汚染へのアプローチ	1.5	伊藤
	講義		1.5	伊藤
	講義		1.5	伊藤
	講義	自然生態系破壊へのアプローチ	1.5	石川
	講義		1.5	石川
	講義	水資源・食料生産へのアプローチ	1.5	青山
	講義		1.5	青山
	講義		1.5	青山
	講義	人類を含む生態系へのアプローチ	1.5	東
	講義		1.5	東
	講義		1.5	東
	講義	環境問題に関する法的整備	1.5	伊藤
	レポート作成	1.5		
【8】 白神ブランド戦略論	講義	ガイダンス	1.5	石塚
	講義	地域ブランドとは何か？	1.5	石塚
	講義	白神ブランド農産物・食品のケーススタディ	1.5	石塚
	実査	白神ブランド農産物・食品実践事例のエクスカージョン	5.5	石塚

※担当教員及び講義内容は変更となる場合があります。

■平成32年度前期カリキュラム ※平成32年3月頃確定予定

授業科目名		授業の内容	時間	教員名
【9】 青森の自然 ー白神学IIー	講義	昆虫の多様性	1.5	中村
	講義	対馬海流（暖流）の影響	1.5	中村
	講義	大きい湖・小さい湖	1.5	大高
	講義	ミジンコはすごい	1.5	大高
	講義	変動する土地 - 地滑りのダイナミクス	1.5	檜垣
	講義	地滑り地形が生み出す自然の多様性	1.5	檜垣
	講義	木の年輪から知る環境変動の実態	1.5	石川
	講義	群落分布の成立ち	1.5	石川
	実査	白神周辺（1日目）	1.5	
	実査	白神周辺（1日目）	1.5	
	実査	白神周辺（1日目）	1.5	
	実査	白神周辺（1日目）	1.5	
	実査	白神周辺（2日目）	1.5	
	実査	白神周辺（2日目）	1.5	
	実査	白神周辺（2日目）	1.5	
	【10】 次世代継承論	講義	①大人が描く「子ども観」と子どもが描く「世界観」	3
②子ども理解と参加・参画の主体としての子ども観			面澤	
講義		①学校教育の場面での自然体験	3	齊藤
		②学校外教育での子どもの指導と助言		深作
WS	体験プログラムの検討	4	横山	
【課程外】 救命講習	演習	救命講習	(3)	

総時間数 143

※担当教員及び講義内容は変更となる場合があります。

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【1】

授業科目名	生物学の世界 —生物多様性とその保全—
教室	未定 最終回はレポート提出で出席認定。
担当教員 (学部名)	石川 幸男 (農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授) 中村 剛之 (農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 准教授)
授業の目標	生物の進化によって作られた現在の生物多様性の在り様を知り、私たちにとって生物の多様性がいかに大切なものであるかを正しく理解すること、生物多様性の把握や保全のためにどのような取り組みがなされているか理解することを目標とします。
授業の内容	さまざまなレベルの生物多様性、種概念、種間関係、さらに自然環境の中での種のありようについて分類学と生態学の両面から学びます。さらに、具体例をもとに生物多様性の保全のために行われているさまざまな活動、施策についても紹介します。 第1回 ガイダンス 生物多様性の考え方 第2-5回 動物の多様な世界 ・種多様性の把握と動物分類学 ・種間関係、種内の多様性 第6-12回 植物生態の多様なありよう ・環境の中での植物個体群、群落と景観 第13-15回 生物の絶滅とレッドデータブック ・生物多様性保全の施策 ・生物標本資料の収集と博物館の役割 第16回 レポート
教科書	指定ありません。必要に応じてプリント資料が配られます。
授業を理解する手助けとなる図書	参考書は講義時に紹介します。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【2】

授業科目名	白神保全論
教室	生涯学習教育研究センター多目的室（人文社会科学部3F）
担当教員 （学部名）	石川 幸 男（農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授） 中村 剛 之（農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 准教授）
授業の目標	白神山地の保全について視野を広げ、今後の保全策について深く考える力を養います。
授業の内容	<p>白神山地の保全と利用について考え、また、白神山地で今何がおきているかを知り、今後何がおころうとしているか学びます。授業後半では、諸問題に対してどのような対策がとられているか解説します。</p> <p>(1) 白神山地の保全 何をどう守るのか (2) 白神山地の現状と具体的な保全策</p>
教科書	指定ありません。必要に応じてプリント資料が配られます。
授業を理解する手助けとなる図書	参考書は講義時に紹介します。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【3】

授業科目名	白神観光戦略論
教室	生涯学習教育研究センター多目的室（人文社会科学部3F）
担当教員 (学部名)	秋田 佳紀（青森県観光国際戦略局長）※調整中 竹内賢一郎（西目屋村産業課 副参事） 坂 本 崇（弘前観光コンベンション協会 事務局長） 竹ヶ原公（NPO 法人ひろだいりサーチ 理事長）
授業の目標	青森県や白神山地周辺の自治体がすすめる観光戦略を理解したうえで、白神周辺の交流拠点や地域資源を見つけ出し、新たな観光のあり方を考えられるようになることを目的とします。
授業の内容	(1) 青森県の観光戦略と白神山地の可能性 青森県が考える次世代の観光戦略について学ぶとともに、白神山地の観光資源としての可能性を考える。 (2) 白神山地周辺地域の挑戦を知る 西目屋村や地域活動団体が、白神山地周辺の交流拠点や地域資源を、どのように活用したり、新しい観光資源を生みだしたりしているかを理解する。 (3) 再来訪をうながす仕掛け作り リピーターを生みだすことが地域の交流人口を増やすうえで重要です。地域資源を生かしながら、再訪問をうながすための仕掛けを考えます。 (4) グリーン・ツーリズムの取り組み 農家民泊やグリーン・ツーリズムをとおして地域づくりに取り組む「青森なんぶの達者村」を中心に、新しい観光のあり方を学びます。
教科書	教科書は使用しません。必要に応じて資料を配付します。
授業を理解する 手助けとなる図 書	参考書は各教員が講義時に紹介します。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【4】

授業科目名	青森の自然－白神学Ⅰ－
教室	未定
担当教員 (学部名)	上條 信彦 (人文社会科学部 准教授) 大高 明史 (教育学部 教授) 丹波 澄雄 (理工学研究科 准教授) 根本 直樹 (理工学研究科 講師) 石田 祐宣 (理工学研究科 助教) 佐々木 長市 (農学生命科学部 教授) 殿内 暁夫 (農学生命科学部 教授) 檜垣 大助 (農学生命科学部 教授) 赤田 辰治 (農学生命科学部 准教授) 小林 一也 (農学生命科学部 准教授) 本多 和茂 (農学生命科学部 准教授) 丸 居 篤 (農学生命科学部 准教授) 石川 幸男 (農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授) 中村 剛之 (農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 准教授) 山岸 洋貴 (農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 助教)
授業の目標	白神山地に関する自然，文化等について基本的な知識を習得すること，白神山地をテーマとした諸分野の研究内容に触れることを通して，学問の多様な様を知ることを目標とします。
授業の内容	毎回，異なる分野の教員，専門家がそれぞれ専門の切り口から，世界自然遺産である白神山地について学びます。 内容は気象，地理（リモートセンシング，台地の生い立ち），歴史，河川，菌類，地すべり，土壌，微生物，花，植物の生活史，ブナ林，昆虫等広範で，最新の研究成果や進行中の研究内容も紹介されます。フィールドワークの手法とその面白さを学ぶことができます。
教科書	『白神学入門（2017）』弘前大学出版会
授業を理解する手助けとなる図書	授業中に適宜紹介されます。附属図書館には白神山地関連の図書をまとめたコーナーがありますから，関心のある方はどんな本があるかだけでも見ておくことをおすすめします。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【5】

授業科目名	自然ガイド実践論
教室	生涯学習教育研究センター多目的室（人文社会科学部3F）
担当教員 (学部名)	中村 剛之（農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 准教授） 佐藤 崇之（教育学部 准教授） 呉 書 雅（教育推進機構 教養教育開発実践センター 非常勤講師） 今村かほる（弘前学院大学文学部 教授）
授業の目標	エコツーリズムとは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など地域固有の魅力を観光客に伝えていくことで、その価値や大切さを理解してもらい、保全につなげていこうという仕組みです。このエコツーリズムを実現するガイドのありかたについて理解します。
授業の内容	(1)自然解説のための資源整理 白神学Ⅰなどで得た知識をもとに、自然解説に活用できる資源を整理します。 (2)自然解説の基本技術 自然解説をするためには、知識をもっているだけではできません。知識をわかりやすく伝えるための基本技術を実践的に学びます。 (3)外国からのお客様をもてなす 白神周辺の観光地には、中国・韓国からのお客様も増えています。中国からのお客様をもてなすために最小限身につけておくべきことを学びます。 (4)津軽の薫り豊かな案内 地域の情報を薫り豊かに伝えるうえで、方言は重要な役割を果たしています。意味を正確に伝えつつ、薫り豊かに表現する技法を学びます。
教科書	教科書は使用しません。必要に応じて資料を配付します。
授業を理解する手助けとなる図書	参考書は各教員が講義時に紹介します。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【6】

授業科目名	世界自然遺産論
教室	生涯学習教育研究センター多目的室（人文社会科学部 3F）
担当教員 (学部名)	石川 幸 男（農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授）
授業の目標	世界自然遺産の目的，世界の自然遺産の中での白神山地の特性を理解することを目指します。
授業の内容	<p>世界自然遺産はどのような目的でつくられ，世界各地に点在する遺産はどのように登録されるのか，登録によって何が変わり，何が求められているのかを学びます。また，世界自然遺産が抱える諸問題についても解説します。</p> <p>(1)世界自然遺産の目的と日本の自然遺産 (2)海外の世界自然遺産とその問題点</p>
教科書	指定ありません。必要に応じてプリント資料が配られます。
授業を理解する 手助けとなる図 書	参考書は講義時に紹介します。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【7】

授業科目名	地球環境-21世紀の地球環境問題②-
教室	未定
担当教員 (学部名)	檜垣大助 (農学生命科学部 教授) 東 信 行 (農学生命科学部 教授) 青山正和 (農学生命科学部 教授) 伊藤大雄 (農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 准教授) 石川幸男 (農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授)
授業の目標	21世紀の地球環境問題について、その実態や克服に向けた取組を包括的に学び、解決策について深く考える力を養います。
授業の内容	<p>経済成長や人口増大により、人類は20世紀に深刻な環境問題に直面しました。環境問題の解決は21世紀の人類の重要な課題です。この授業では、専門分野の異なる多くの教員から、現代の様々な環境問題の発生要因や実態、克服にむけた取り組みを自然科学と社会科学の両面にわたって学ぶことにより、地球規模の環境問題について深く考える力を身につけます。</p> <p>(1) 発展途上国と環境問題 (人口増加, 森林破壊) (2) 気候変動と環境汚染 (地球温暖化, オゾン破壊, 酸性雨) (3) 水資源・食料生産 (砂漠化, 土壌侵食, 食糧問題) (4) 自然生態系破壊 (森林減少, 野生生物の絶滅) (5) 人類を含む生態系 (生物資源枯渇, 外来種, 環境保全) (6) 環境問題に関する法的整備 (排出量取引, 環境税)</p>
教科書	教科書は使用しません。必要に応じて資料を配付します。
授業を理解する 手助けとなる図 書	参考書は各教員が講義時に紹介します。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【8】

授業科目名	白神ブランド戦略論
教室	生涯学習教育研究センター多目的室（人文社会科学部 3F）
担当教員 （学部名）	石塚 哉史（農学生命科学部 教授）
授業の目標	世界自然遺産である白神山地の特性を踏まえた地域資源の活用方法について、地域ブランドの定義や関連政策、制度の説明にはじまり、白神ブランド農林水産物・食品を中心とした先進的な地域ブランド戦略の実践事例の展開過程から現状と課題を理解すると共に、今後の展望や解決策を検討する力を養います。
授業の内容	<p>(1) ガイダンス 授業の進め方、評価方法、レポート提出課題の内容等本授業の概要、ブランド・マーケティングの基礎について学びます。</p> <p>(2) 地域ブランドとは何か？ 地域ブランドの定義、関連政策・制度の内容、各地の取り組み状況などについて学びます。</p> <p>(3) 白神ブランド農産物・食品のケーススタディ 白神うどや白神ラム等の先進事例から、ブランド構築の展開過程、プレミアム及びエクイティを中心にブランド・マーケティング戦略の特徴について学びます。</p> <p>(4) 白神ブランド農産物・食品実践事例のエクスカージョン 地域ブランド構築の経緯や管理・運営する上でのメリット、実施する上での乗り越えるべき課題等について学習します。</p>
教科書	教科書は特段使用しません。講義毎に資料を配付します。
授業を理解する 手助けとなる図 書	参考書は、講義の単元毎に配布資料に記載し、紹介するので必要に応じて読んでください。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	

「白神自然環境人材育成講座」シラバス【9】

授業科目名	青森の自然－白神学Ⅱ－
教室	未定
担当教員 (学部名)	大高明史（教育学部 教授） 檜垣大助（農学生命科学部 教授） 石川幸男（農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 教授） 中村剛之（農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 准教授）
授業の目標	授業「白神学Ⅰ」で学んだことをふまえ、白神山地の地学、動物、植物に特に焦点を当て、理解を深めます。 実際に白神山地を歩くことで一連の授業の内容を確認し、理解を深めることを目標とします。
授業の内容	講義（8回） 白神昆虫相の成り立ち（中村） ・昆虫の多様性 ・対馬海流（暖流）の影響 十二湖－小宇宙の生態学（大高） ・大きい湖・小さい湖 ・ミジンコはすごい 森林と土地の結びつきを見る（檜垣） ・変動する土地－地滑りのダイナミクス ・地滑り地形が生み出す自然の多様性 白神、森の生態（石川） ・木の年輪から知る環境変動の実態 ・群落分布の成り立ち 白神山地での実習 2日間（講義 8回分に相当）
教科書	授業中、適宜指示または配付されます。
授業を理解する手助けとなる図書	白神学入門 <2017>
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	実習の当日は雨具、山歩きに適切な靴（または長靴）、リュックサックなど最低限の装備が必要になります。

「白神自然環境人材育成講座」 シラバス 【10】

授業科目名	次世代継承論
教室	生涯学習教育研究センター多目的室（人文社会科学部 3F）
担当教員 (学部名)	深作 拓郎（弘前大学生涯学習教育研究センター 講師） 面澤 和子（弘前大学名誉教授） 齋藤 厚（弘前大学教育学部 特任助教） 横山 仁志（青森県黒石市立北陽小学校 教諭）
授業の目標	世界遺産白神山地の価値を次の世代にどう継承していくかを考え、そのための教育プログラムを検討していきます。
授業の内容	<p>次世代への継承とは、「大人が子どもを指導する」だけとは限りません。とりわけ低学年の児童には「気づきや発見を促し、興味関心を高める」ことを目的とした関与が多いかと思いますが、高学年・中高校となれば「共に考え合う」という参加となってきます。</p> <p>本講義では、自然観察のプログラムにこだわらず、幅広い視野に立って次世代への継承のための効果的なプログラムを考える機会にしていきます。</p> <p>(1) 子ども理解と参加・参画の主体としての子ども観 ①大人が描く「子ども観」と子どもが描く「世界観」（深作） ②子どもの発達と安全への理解（面澤）</p> <p>(2) 自然体験を教育プログラムにする ①学校教育の場面での自然体験（齋藤） ②学校外教育での子どもの指導と助言（深作）</p> <p>(3) 子ども向けのプログラムを作成・検討（ワークショップ） 体験プログラムの検討（横山）</p>
教科書	教科書は使用しません。
授業を理解する 手助けとなる 図書	参考書は適宜紹介します。
授業の振り返り	毎回出欠を確認します。レポートを課します。
備考	